

平成31年4月茨城県土木部茨城県企業局 建設工事必携 正誤表

誤	正
<p>(P.1-13)</p> <p>5. 再生資源利用促進計画</p> <p>受注者は、建設発生土、コンクリート塊、アスファルト・コンクリート塊、<u>アスファルト混合物などを工事現場に搬入</u>する場合には、法令に基づき、<u>再生資源利用計画書</u>を作成し、<u>施工計画書</u>に含め<b>監督員に提出</b>しなければならない。</p>	<p>(P.1-13)</p> <p>5. 再生資源利用促進計画</p> <p>受注者は、建設発生土、コンクリート塊、アスファルト・コンクリート塊、<u>建設汚泥または建設混合廃棄物等を工事現場から搬出</u>する場合には、法令に基づき、<u>再生資源利用促進計画</u>を作成し、<u>施工計画書</u>に含め<b>監督員に提出</b>しなければならない。</p>

誤	正
<p>(P.1-13)</p> <p>7. 実施書の提出</p> <p>受注者は、再生資源利用計画、<u>際す資源利用促進計画</u>、建設廃棄物処理計画を作成した場合には、工事完了後速やかに実施状況を記録した「再生資源利用実施書」、<u>「再生資源利用実施書」</u>、「<u>蛍雪廃棄物処理実施書</u>」を発注者に<b>提出</b>しなければならない。</p>	<p>(P.1-13)</p> <p>7. 実施書の提出</p> <p>受注者は、再生資源利用計画、<u>再生資源利用促進計画</u>、建設廃棄物処理計画を作成した場合には、工事完了後速やかに実施状況を記録した「再生資源利用実施書」、<u>「再生資源利用促進実施書」</u>、「<u>建設廃棄物処理実績書</u>」を発注者に<b>提出</b>しなければならない。</p>

平成31年4月茨城県土木部茨城県企業局 建設工事必携 正誤表

誤	正
<p>(P.1-13)</p> <p>8. 建設副産物情報交換システム (COBRIS (コブリス))</p> <p>コンクリート塊、アスファルト・コンクリート塊、建設発生木材、建設汚泥または建設混合廃棄物を搬入または搬出する場合には、施工計画作成時、工事完了時に必要な情報を建設副産物情報交換システム <u>(COBURIS)</u> に入力するものとする。また、建設副産物実態調査(センサス)についても、対象となる建設副産物の品目について、データを入力し調査票を監督員へ提出すること。なお、出力した調査票は「再生資源利用実施書」及び「再生資源利用促進実施書」の提出に代わるものとする。なお、これによりがたい場合には、監督員と協議しなければならない。</p>	<p>(P.1-13)</p> <p>8. 建設副産物情報交換システム (COBRIS (コブリス))</p> <p>コンクリート塊、アスファルト・コンクリート塊、建設発生木材、建設汚泥または建設混合廃棄物を搬入または搬出する場合には、施工計画作成時、工事完了時に必要な情報を建設副産物情報交換システム <u>(COBRIS)</u> に入力するものとする。また、建設副産物実態調査(センサス)についても、対象となる建設副産物の品目について、データを入力し調査票を監督員へ提出すること。なお、出力した調査票は「再生資源利用実施書」及び「再生資源利用促進実施書」の提出に代わるものとする。なお、これによりがたい場合には、監督員と協議しなければならない。</p>

誤	正
<p>(P.1-17)</p> <p>7. <u>イメージアップ</u></p> <p>受注者は、工事現場の<u>イメージアップ</u>を図るため、現場事務所、作業員宿舎、休憩所または作業環境等の改善を行い、快適な職場を形成するとともに、地域との積極的なコミュニケーション及び現場周辺的美装化に努めるものとする。</p>	<p>(P.1-17)</p> <p>7. <u>現場環境改善</u></p> <p>受注者は、工事現場の<u>現場環境改善</u>を図るため、現場事務所、作業員宿舎、休憩所または作業環境等の改善を行い、快適な職場を形成するとともに、地域との積極的なコミュニケーション及び現場周辺的美装化に努めるものとする。</p>

平成31年4月茨城県土木部茨城県企業局 建設工事必携 正誤表

誤	正																												
<p>(P.2-2)</p> <p>表 2-1-1 「茨城県土木部指定工場制度における指定資材と指定品目」</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="217 440 745 489">指定資材</th> <th data-bbox="748 440 1104 489">指定品目</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="217 491 745 541">砕石</td> <td data-bbox="748 491 1104 541">(略)</td> </tr> <tr> <td data-bbox="217 542 745 592">道路用鉄鋼スラグ</td> <td data-bbox="748 542 1104 592">(略)</td> </tr> <tr> <td data-bbox="217 593 745 643">コンクリート再生砕石</td> <td data-bbox="748 593 1104 643">(略)</td> </tr> <tr> <td data-bbox="217 644 745 694"><u>レディーミックスコンクリート</u></td> <td data-bbox="748 644 1104 694"></td> </tr> <tr> <td data-bbox="217 695 745 745">アスファルト混合物</td> <td data-bbox="748 695 1104 745">(略)</td> </tr> <tr> <td data-bbox="217 746 745 796">コンクリート製品</td> <td data-bbox="748 746 1104 796">(略)</td> </tr> </tbody> </table>	指定資材	指定品目	砕石	(略)	道路用鉄鋼スラグ	(略)	コンクリート再生砕石	(略)	<u>レディーミックスコンクリート</u>		アスファルト混合物	(略)	コンクリート製品	(略)	<p>(P.2-2)</p> <p>表 2-1-1 「茨城県土木部指定工場制度における指定資材と指定品目」</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="1193 440 1722 489">指定資材</th> <th data-bbox="1724 440 2080 489">指定品目</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="1193 491 1722 541">砕石</td> <td data-bbox="1724 491 2080 541">(略)</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1193 542 1722 592">道路用鉄鋼スラグ</td> <td data-bbox="1724 542 2080 592">(略)</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1193 593 1722 643">コンクリート再生砕石</td> <td data-bbox="1724 593 2080 643">(略)</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1193 644 1722 694"><u>レディーミクストコンクリート</u></td> <td data-bbox="1724 644 2080 694"></td> </tr> <tr> <td data-bbox="1193 695 1722 745">アスファルト混合物</td> <td data-bbox="1724 695 2080 745">(略)</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1193 746 1722 796">コンクリート製品</td> <td data-bbox="1724 746 2080 796">(略)</td> </tr> </tbody> </table>	指定資材	指定品目	砕石	(略)	道路用鉄鋼スラグ	(略)	コンクリート再生砕石	(略)	<u>レディーミクストコンクリート</u>		アスファルト混合物	(略)	コンクリート製品	(略)
指定資材	指定品目																												
砕石	(略)																												
道路用鉄鋼スラグ	(略)																												
コンクリート再生砕石	(略)																												
<u>レディーミックスコンクリート</u>																													
アスファルト混合物	(略)																												
コンクリート製品	(略)																												
指定資材	指定品目																												
砕石	(略)																												
道路用鉄鋼スラグ	(略)																												
コンクリート再生砕石	(略)																												
<u>レディーミクストコンクリート</u>																													
アスファルト混合物	(略)																												
コンクリート製品	(略)																												

平成31年4月茨城県土木部茨城県企業局 建設工事必携 正誤表

誤	正																																																																																																																																																																														
<p>(P.3-10)</p> <p>3. 反射シート</p> <p>小型標識工に使用する反射シートは、<u>JIS Z 9117 (再帰性反射材) または、カプセルレンズ型反射シート</u>を用いるものとする。</p>	<p>(P.3-10)</p> <p>3. 反射シート</p> <p>小型標識工に使用する反射シートは、<u>広角プリズム型反射シート</u>を用いるものとし、その仕様については、以下によるものとする。</p> <p>(1) 反射性能は下表に示す値以上でなければならない。</p> <table border="1" data-bbox="1249 587 1966 868"> <thead> <tr> <th>観測角</th> <th>入射角</th> <th>白</th> <th>黄</th> <th>赤</th> <th>青</th> <th>緑</th> <th>蛍光黄色</th> <th>蛍光黄緑</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">12°</td> <td>5°</td> <td>570</td> <td>380</td> <td>75</td> <td>50</td> <td>70</td> <td>275</td> <td>375</td> </tr> <tr> <td>30°</td> <td>235</td> <td>190</td> <td>45</td> <td>16</td> <td>25</td> <td>160</td> <td>225</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">20°</td> <td>5°</td> <td>400</td> <td>280</td> <td>54</td> <td>30</td> <td>50</td> <td>190</td> <td>270</td> </tr> <tr> <td>30°</td> <td>170</td> <td>140</td> <td>20</td> <td>12</td> <td>19</td> <td>95</td> <td>135</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">30°</td> <td>5°</td> <td>300</td> <td>230</td> <td>45</td> <td>30</td> <td>45</td> <td>150</td> <td>225</td> </tr> <tr> <td>30°</td> <td>170</td> <td>140</td> <td>20</td> <td>12</td> <td>19</td> <td>100</td> <td>145</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">1°</td> <td>5°</td> <td>120</td> <td>70</td> <td>14</td> <td>5</td> <td>10</td> <td>50</td> <td>75</td> </tr> <tr> <td>30°</td> <td>50</td> <td>40</td> <td>8</td> <td>2.5</td> <td>5</td> <td>30</td> <td>45</td> </tr> </tbody> </table> <p>*単位：cd/lux/sqm *試験及び測定の方法はJIS Z 9117による</p> <p>(2) 色は下表に示す色度座標の範囲とする。</p> <table border="1" data-bbox="1249 991 2056 1313"> <thead> <tr> <th rowspan="3">色</th> <th colspan="8">色度座標の範囲</th> <th rowspan="2">Y値の 限界 (%)</th> </tr> <tr> <th colspan="2">1</th> <th colspan="2">2</th> <th colspan="2">3</th> <th colspan="2">4</th> </tr> <tr> <th>x</th> <th>y</th> <th>x</th> <th>y</th> <th>x</th> <th>y</th> <th>x</th> <th>y</th> <th>下限値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>白</td> <td>0.274</td> <td>0.329</td> <td>0.303</td> <td>0.300</td> <td>0.368</td> <td>0.366</td> <td>0.340</td> <td>0.393</td> <td>27</td> </tr> <tr> <td>黄</td> <td>0.479</td> <td>0.521</td> <td>0.438</td> <td>0.472</td> <td>0.498</td> <td>0.412</td> <td>0.558</td> <td>0.442</td> <td>15</td> </tr> <tr> <td>赤</td> <td>0.649</td> <td>0.351</td> <td>0.565</td> <td>0.346</td> <td>0.629</td> <td>0.281</td> <td>0.735</td> <td>0.265</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>青</td> <td>0.140</td> <td>0.035</td> <td>0.244</td> <td>0.210</td> <td>0.190</td> <td>0.255</td> <td>0.065</td> <td>0.216</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>緑</td> <td>0.026</td> <td>0.399</td> <td>0.166</td> <td>0.364</td> <td>0.286</td> <td>0.446</td> <td>0.207</td> <td>0.771</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>蛍光黄色</td> <td>0.479</td> <td>0.520</td> <td>0.446</td> <td>0.483</td> <td>0.512</td> <td>0.421</td> <td>0.557</td> <td>0.442</td> <td>40</td> </tr> <tr> <td>蛍光黄緑</td> <td>0.387</td> <td>0.610</td> <td>0.369</td> <td>0.546</td> <td>0.428</td> <td>0.496</td> <td>0.460</td> <td>0.540</td> <td>55</td> </tr> </tbody> </table> <p>*試験及び測定の方法はJIS Z 8722による</p>	観測角	入射角	白	黄	赤	青	緑	蛍光黄色	蛍光黄緑	12°	5°	570	380	75	50	70	275	375	30°	235	190	45	16	25	160	225	20°	5°	400	280	54	30	50	190	270	30°	170	140	20	12	19	95	135	30°	5°	300	230	45	30	45	150	225	30°	170	140	20	12	19	100	145	1°	5°	120	70	14	5	10	50	75	30°	50	40	8	2.5	5	30	45	色	色度座標の範囲								Y値の 限界 (%)	1		2		3		4		x	y	x	y	x	y	x	y	下限値	白	0.274	0.329	0.303	0.300	0.368	0.366	0.340	0.393	27	黄	0.479	0.521	0.438	0.472	0.498	0.412	0.558	0.442	15	赤	0.649	0.351	0.565	0.346	0.629	0.281	0.735	0.265	3	青	0.140	0.035	0.244	0.210	0.190	0.255	0.065	0.216	1	緑	0.026	0.399	0.166	0.364	0.286	0.446	0.207	0.771	3	蛍光黄色	0.479	0.520	0.446	0.483	0.512	0.421	0.557	0.442	40	蛍光黄緑	0.387	0.610	0.369	0.546	0.428	0.496	0.460	0.540	55
観測角	入射角	白	黄	赤	青	緑	蛍光黄色	蛍光黄緑																																																																																																																																																																							
12°	5°	570	380	75	50	70	275	375																																																																																																																																																																							
	30°	235	190	45	16	25	160	225																																																																																																																																																																							
20°	5°	400	280	54	30	50	190	270																																																																																																																																																																							
	30°	170	140	20	12	19	95	135																																																																																																																																																																							
30°	5°	300	230	45	30	45	150	225																																																																																																																																																																							
	30°	170	140	20	12	19	100	145																																																																																																																																																																							
1°	5°	120	70	14	5	10	50	75																																																																																																																																																																							
	30°	50	40	8	2.5	5	30	45																																																																																																																																																																							
色	色度座標の範囲								Y値の 限界 (%)																																																																																																																																																																						
	1		2		3		4																																																																																																																																																																								
	x	y	x	y	x	y	x	y	下限値																																																																																																																																																																						
白	0.274	0.329	0.303	0.300	0.368	0.366	0.340	0.393	27																																																																																																																																																																						
黄	0.479	0.521	0.438	0.472	0.498	0.412	0.558	0.442	15																																																																																																																																																																						
赤	0.649	0.351	0.565	0.346	0.629	0.281	0.735	0.265	3																																																																																																																																																																						
青	0.140	0.035	0.244	0.210	0.190	0.255	0.065	0.216	1																																																																																																																																																																						
緑	0.026	0.399	0.166	0.364	0.286	0.446	0.207	0.771	3																																																																																																																																																																						
蛍光黄色	0.479	0.520	0.446	0.483	0.512	0.421	0.557	0.442	40																																																																																																																																																																						
蛍光黄緑	0.387	0.610	0.369	0.546	0.428	0.496	0.460	0.540	55																																																																																																																																																																						

平成31年4月茨城県土木部茨城県企業局 建設工事必携 正誤表

誤										正									
(P.15-42)										(P.15-42)									
編	章	節	条	枝番	工種	測定項目		規格値		編	章	節	条	枝番	工種	測定項目		規格値	
1	2	3	2	2	掘削工 (面管理の場合)			平均値	個々の <u>平均値</u>	1	2	3	2	2	掘削工 (面管理の場合)			平均値	個々の <u>計測値</u>
共通編	土	河川・海岸・砂防土工			平場	標高較差	±50	±150	平場	標高較差	±50	±150							
					法面(小段含む)	水平または標高較差	±70	±160	法面(小段含む)	水平または標高較差	±70	±160							

※同様の正誤が、P.15-46、P.15-50 及び P.15-52 にも有り。

平成31年4月茨城県土木部茨城県企業局 建設工事必携 正誤表

誤						正					
(P.16-26)						(P.16-26)					
工種	種別	試験区分	試験項目	試験方法	規格値	工種	種別	試験区分	試験項目	試験方法	規格値
7. 下層路盤工 (歩道・路肩を含む)	施工	必須	(略)	(略)	(略)	7. 下層路盤工 (歩道・路肩を含む)	施工	必須	(略)	(略)	(略)
			(略)	(略)	(略)				(略)	(略)	
			平板載荷試験	JIS A 1215	<u>18 (MN/m<sup>2</sup>)</u>				平板載荷試験	JIS A 1215	<u>180 MN/m<sup>3</sup></u>
			(略)	(略)	(略)				(略)	(略)	(略)
			(略)	(略)	(略)				(略)	(略)	(略)
	その他	その他	(略)	(略)			その他	その他	(略)	(略)	
			(略)	(略)	(略)				(略)	(略)	(略)
			(略)	(略)	(略)				(略)	(略)	(略)

誤

正

(P.18-16)

(P.18-16)

JIS A 1215準拠 平板 載荷 試験

JIS A 1215準拠 平板 載荷 試験

工事番号 \_\_\_\_\_  
 工事名 \_\_\_\_\_  
 測点 \_\_\_\_\_ 天候 \_\_\_\_\_  
 工種 \_\_\_\_\_ 試験者 \_\_\_\_\_  
 載荷板の直径 300 mm 試験年月日 \_\_\_\_\_ 年 月 日  
 載荷板の面積 70.65 m<sup>2</sup> 計算に用いた沈下量 \_\_\_\_\_ mm

全荷重 KN	荷重強度 kN/m <sup>2</sup>	ダイヤルゲージの読み 1/100mm			沈下量 mm
		左	右	平均値	
0	0				
5	70				
10	140				
15	220				
20	277				
25	347				
30	416				
35	486				
40	555				
45	624				
50	694				

載荷力 (kN/m<sup>2</sup>)

$K_{30} = \frac{\text{荷重強度}}{\text{沈下量}}$   
 $K_{30} = \frac{\quad}{\quad} = \quad \text{MN/m}^2$   
 (注) 下層路盤工  
 $K_{30} = \frac{\text{荷重強度}}{\text{沈下量}} \geq 18 \text{ MN/m}^2$  (12)  
 備考

工事番号 \_\_\_\_\_  
 工事名 \_\_\_\_\_  
 測点 \_\_\_\_\_ 天候 \_\_\_\_\_  
 工種 \_\_\_\_\_ 試験者 \_\_\_\_\_  
 載荷板の直径 300 mm 試験年月日 \_\_\_\_\_ 年 月 日  
 載荷板の面積 0.07065 m<sup>2</sup> 計算に用いた沈下量 \_\_\_\_\_ mm

全荷重 KN	荷重強度 kN/m <sup>2</sup>	ダイヤルゲージの読み 1/100mm			沈下量 mm
		左	右	平均値	
0	0				
5	70				
10	140				
15	220				
20	277				
25	347				
30	416				
35	486				
40	555				
45	624				
50	694				

載荷力 (kN/m<sup>2</sup>)

$K_{30} = \frac{\text{荷重強度}}{\text{沈下量}}$   
 $K_{30} = \frac{\quad}{\quad} = \quad \text{MN/m}^3$   
 (注) 下層路盤工  
 $K_{30} = \frac{\text{荷重強度}}{\text{沈下量}} \geq 180 \text{ MN/m}^3$

平成31年4月茨城県土木部茨城県企業局 建設工事必携 正誤表

誤	正
<p>(P.21-2)</p> <p>③ 変形の大きな箇所の対策</p> <p>県は舗装の設計をする場合、路床土の強さ(路床土CBR又は設計CBRという)について、100～200m程度に1箇所ずつチェックすることとしているが、その中間において軟弱な土があったり、地下水が高いなどの影響により路床土の弱い所があるため、その箇所を早く発見し、不良であれば路床土を良質土と入れ替えたり、入れ替え厚さを大きくしたりするなどの対策が必要である。</p> <p>変形(沈下量)の大きい路床において、設計で定められた厚さの下層路盤を試験的に施工し、その箇所で平板載荷試験を行い規定の値(L・A・B・C・D交通に対応する設計は18以上、簡易舗装に対応する設計は12以上)以上であるかどうかをチェックしたり、ベンゲルマンビームにより変形を測定したりして不良箇所について監督員と協議することが必要である。</p>	<p>(P.21-2)</p> <p>③ 変形の大きな箇所の対策</p> <p>県は舗装の設計をする場合、路床土の強さ(路床土CBR又は設計CBRという)について、100～200m程度に1箇所ずつチェックすることとしているが、その中間において軟弱な土があったり、地下水が高いなどの影響により路床土の弱い所があるため、その箇所を早く発見し、不良であれば路床土を良質土と入れ替えたり、入れ替え厚さを大きくしたりするなどの対策が必要である。</p> <p>変形(沈下量)の大きい路床において、設計で定められた厚さの下層路盤を試験的に施工し、その箇所で平板載荷試験を行い規定の値(180MN/m<sup>3</sup>)以上であるかどうかをチェックしたり、ベンゲルマンビームにより変形を測定したりして不良箇所について監督員と協議することが必要である。</p>